

事業番号	07 02 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中小企業金融対策事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課				
		実施期間	S28 ~	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成								

1 現状と課題

・県が金融機関に貸付原資の一部を預託することにより、貸出金利を低減化するとともに、政策的な資金については、県と市町村が強調して信用保証料の一部を補助し、事業者負担を軽減。また、新型コロナウイルスの影響により厳しい経営環境にある中小企業者の資金繰りを支援するため、新たな資金を創設。中小企業者の資金需要に対応するため、経済状況、社会情勢等に応じた制度とする必要がある。

・債権回収会社（サービサー）への回収業務の委託等を通じて高度化資金及び設備近代化資金の滞納額縮減を進めるとともに、資力不足などの事情により返済が進まない債務者への対策を練る必要がある。

2 事業目的

・中小企業者の信用度を補完し、事業に必要な資金の円滑な調達を促進する。

・高度化資金及び設備近代化資金における債権調査等を進めながら、債権額を縮減する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①中小企業融資制度資金により中小企業者の資金繰りを支援

・新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業者の返済負担の軽減を図るため、信用保証付きの融資全般を借換対象とする新メニュー（伴走支援型）を経営健全化支援資金に追加するとともに、融資枠を拡充（R3：200億円⇒R4：300億円）

・新型コロナウイルスの影響による新規借入需要に対応するため、最優遇金利（0.8%）を適用している「経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策）」について、貸付要件を緩和した上で、令和4年度も継続

②滞納額縮減への取組

・引き続き、延滞債権回収業務をサービサーに委託し、滞納額縮減を促進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	中小企業融資制度「中小企業振興資金（創業枠）」、「小規模企業発展資金」及び「信州創生推進資金」利用件数	件	824	1,182	↗	1,235	↗	1,190	達成	県の商工施策に適合する方向へ中小企業者を誘導・援助する資金の利用状況を把握するための指標（R4目標値はR3年度利用見込をもとに設定）	
②	延滞先からの回収額（高度化資金・近代化資金）	千円	3,353	3,858	↗	6,402	↗	3,132	達成	税外未収金（高度化資金・近代化資金）状況を把握するための指標（R4目標値はR3年度償還見込をもとに設定）	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	198,564,060	△ 23,772,255	174,791,805	225,616	174,458,006	11.5
R3年度	0	168,152,191	△ 5,962,744	162,189,447	133,341	162,160,377	11.5
R2年度	0	30,826,927	55,956,686	86,783,613	174,455	86,780,495	11.5

事業番号	07 02 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中小企業金融対策事業費		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課

6 主な取組実績と成果

① 中小企業融資制度資金により中小企業者の資金繰りを支援

・令和4年度実績は、件数で7,589件、金額で670億6,595万円、対前年比は件数で134.9%、金額で162.5%となった。
 ・令和3年度は資金需要に一服感が見られたが、令和4年度は新型コロナや価格高騰等の影響による手元資金の確保に加え、事業再構築補助金等を活用した前向きな設備投資に伴い利用が増加。
 ・資金別に見ると、「経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策）」や「中小企業振興資金」、「信州創生推進資金（事業展開向け）」等の利用が伸びているとともに、令和4年度に新設した「経営健全化支援資金（新型コロナ向け伴走支援型）」の利用が915件、約140億円となった。また、伴走支援型は、保証付き融資全般からの借換が可能な資金であり、約84%が借換資金として利用され、事業者の返済負担軽減に繋がっている。

② 滞納額縮減への取組

・サービスと連携し、状況把握の上で回収率が低下している先については未納分を含めた返済を行うよう集中的に交渉を行っている。連携した督促により回収増額に至っている。
 ・回収できない債権については、更に調査を行い債権放棄に向けた準備を進めている。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	中小企業融資制度「中小企業振興資金（創業枠）」、「小規模企業発展資金」及び「信州創生推進資金」利用件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
全国的な課題である事業承継や、国の補助金との併用による事業転換を目的とした資金ニーズの高まりが件数増の一端を担っている。また、長期、固定、低利を特徴とし、信用保証協会との保証契約を条件とする当県の制度は金融機関のリスク軽減に繋がることから、金融機関の信用度が低い開業予定者や新規開業者、小規模企業者に対する融資件数の増加に貢献している。							
指標②	延滞先からの回収額（高度化資金・近代化資金）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
県とサービスが連携して延滞債権の回収に努めた結果、滞納金の回収が進んだ。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・中小企業者の資金需要に対応するため、金融機関や信用保証協会との協調により、経済状況、社会情勢等に応じた制度とする必要がある。
 ・資力が十分でないなどの事情により、返済が進まない債務者がいる。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・貸付期間の延長等の条件変更に対応するとともに、保証付き融資全般を借り換えできる資金により返済負担の軽減を図る。
 ・引き続き、サービスと連携して滞納先の状況を把握し、状況に応じた交渉を行うことで滞納額の縮減を図る。

事業番号	07 02 03	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	中小企業金融対策事業費		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	中小企業融資制度資金		86,718,405 千円	162,077,347 千円	174,388,688 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	融資原資預託	貸付金	金融機関に貸付原資の一部を預託 制度融資を扱う長野県内に本支店がある金融機関に1,697億円を預託		
2	信用保証料補助金	補助金	政策的な資金について、信用保証料の一部を補助 長野県信用保証協会に7億円補助（事業者負担分を補填）		
3	利子補給補助金	補助金	中小企業の資金繰りを支援するため、金融機関を通じて利子補給を実施 制度融資取扱い金融機関に利子補給39億円（金融機関を通じた間接補助）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	高度化資金		57,786 千円	77,281 千円	48,559 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高度化資金貸付	直接	中小企業基盤整備機構への貸付 1件		
2	高度化資金償還	直接	中小企業基盤整備機構への償還 計画償還（国負担分24,928千円）		
3	高度化資金繰出	直接	一般会計への繰出 計画償還（県負担分17,448千円）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費		3,894 千円	5,373 千円	20,403 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	不動産競売	直接	不動産の競売 該当案件なし		
2	延滞債権回収業務委託	委託	延滞債権回収業務委託 サービサー1社		
3	貸付金管理システム再構築	委託	高度化資金貸付金の債権管理等に必要なシステムの再構築費用 システムの再構築1件		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	小規模企業者等設備導入資金		410 千円	376 千円	356 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	設備近代化資金償還		国への償還 計画償還（国負担分178千円）		
2	設備近代化資金繰出		一般会計への繰出 計画償還（県負担分178千円）		